

オホーツクの秋を告げるカラフトマス 期間限定展示のお知らせ

北の大地の水族館では、オホーツクの秋を告げる「カラフトマス」の展示を8月22日(木)10:30より四季の水槽にて開始します。

ピンクサーモンやオホーツクサーモンとも呼ばれるカラフトマスは、日本ではそのほとんどが北海道のオホーツク海と根室海峡に注ぐ川を中心に産卵に戻ってくるサケの仲間です。

1年半の外洋での生活を終えて戻ってきたカラフトマスは8月中旬から9月にかけて川をさかのぼり繁殖を終えるとその一生を閉じます。特にオスのカラフトマスは背中が大きく隆起し、恐竜のような姿になることからセツパリマスとも呼ばれ、釣り愛好家などから人気を博しています。

北の大地の水族館では、オホーツクを代表する生物としてカラフトマスの様々な生態を順次紹介して行く予定です。



背中 of 隆起が特徴的なオス



外洋生活期と体型はほぼ変わらないメス